



第九十六号 令和元年五月十五日(水)発行

平成三十一年度総会開催される

一筆啓上・作左の会総会が、去る四月十四日(日)七十余名の出席者を迎えて六ツ美西部学区市民ホームで開催されました。

会長の挨拶では、「町興しとして会が発足して今年は二十年の節目、改めて会の立ち上げに尽力された先輩の方々に敬意を表したい、また、今年度は、新たな事業として、誰でもが参加できる事業にも取り組んでいきたい」と抱負を語った。

来賓として、衆議院議員青山周平様、愛知県議会議員新海正春様、岡崎市議会議員 柵木誠様六ツ美商工会長官本一彦様はじめ多数の方々にご臨席を賜り祝辞を頂きました。

総会では山田会長の挨拶に続き、三十一年度の事業報告及び決算報告がなされ、出席者全員の承認を得ました。役員の改選では、会長には引き続き山田靖氏、副会長に市川眞人氏、もう一人の副会長に赤渋三区総代の濱口正行氏、会計には宮地町東総代の安藤誠氏が新体制として承認されました。

新年度の事業計画では、例年の俳句・短歌の「ふるさと賞」「ゆかりの地視察旅行」等の他に、新たに二点の事業として、①地域の歴史を探る会、②作左俳句の会を立ち上げ、地域の多くの方

引き続きの講演会では、講師に、おかげさき塾歴史教室主宰の市橋章男氏をお招きし、「家康公を支えた主な三河譜代たち」についてご講演をいただきました。ただきました。講演会の後、犬塚忠貴社教委員長の乾杯の音頭で懇親会が行われ、楽しい時間を過ごすことができました。

会を立ち上げ、地域の多くの方

の歴史を探る会、②作左俳句の

た。*講演会要旨は本紙に添付。



市橋章男氏の講演会風景



挨拶する山田会長